

されずと信じて重役其他主腦部の一部のな氣まぐれに營まれる權力もに首を切られる、働いても食へないと云ふ事が無産階級と對抗する資本主義制度が非常と云ふもの、直而して居る事を思わせる又労働大衆に非常時として顯著なものは失業問題である。

勤勞大衆の賃銀の値下や故なくしての餓首や失業の爲購買力の減退や農村の窮乏は資本主義に内在する矛盾を暴露して居る、没落過程にある資本主義は政治的に經濟的に金錢を使用するのであるが搾取した後にはあらゆる方法で搾取せんとしても取る事の出来な爲に赤字を出して來たこの行き詰りを打開するには戦争か革命か。。。中止

○ 水平社運動について

釜水全國委員長 松本治一郎

私の云わんとする處は前辯士に依り大部分を言ひ盡くされて

居る且つ時間も遅く明朝早く活動される人もあり又家庭争議の原因となつても心苦しいので簡単に述べる。

私等水平運動は無差別無搾取の人間社會を建設するにある、吾々はこの差別、搾取の悪魔に對し闘争するものである。この悪魔がある限り水平社運動は續けられることを斷言する。

七、閉會

水平社萬歳三唱